

## 2001（平成13）年度 前期 京都大学 入試問題 文理共通 第1問 解答例

\*解答欄の行数が現在の京大入試に適していないので、後に改訂解答例を掲載した

### 問一

美術の全歴史において、制作者は、先輩や師匠の作品の表現様式を自己の作品の表現様式として継承する。それだけではなく、人間は、そのままではただ混沌しかない視覚的映像世界に秩序を与え、対象を明確に認識する仕方までも先輩や師匠から継承するのであるという意味。

### 問二

三千年間も固定して継続した、古代エジプト人たちの様式化された人間像は、現代人には不自然に見えるが、技術が拙劣だったのではない。それは、事実彼らが先輩や師匠たちの作品を通して継承した通りに人間を認識しており、それ相応に大変忠実な描写をした結果であるとも考えうるから。

### 問三

先輩や師匠から後輩や弟子へと歴史的に受け伝えられ、固定した様式は、伝統を形成する重要な要素ではあるが、それだけでは無意識的な伝承と呼ぶのがふさわしく、まだ伝統ではない。その様式が伝統となるには、伝承が一つのモデル、ないしは手本として意識される必要があるという意味。

### 問四

伝統ということばは、それがことばとして用いられる時は必ず、古くから伝えられ、生活の一部となっていたものが一つのモデルや手本として意識される時である。また、そのようにあらためて強く意識されるのは、それが失われた時か、失われようという危険にさらされている時であるから。

### 問五

明治維新以来、新しい西欧的近代の輸入が急激な変化を招き、日本美術史では、明治十年代の後半頃から、極端な西欧化に対する反動が目立つようになった。明治二十年代には古いものが失われるかもしれないという危機的事態から生じた伝統の意識が急速に強まり、復古主義の時代を迎えた（と筆者は捉えている）。

## 2001（平成13）年度 前期 京都大学 入試問題 文理共通 第1問 改訂版解答例

### 問一（解答欄 三行）

美術史において、制作者は、先人の作品を通してその表現様式だけではなく、混沌とした視覚的映像世界に秩序を与え、対象を明確に認識する仕方までも継承するという意味。

### 問二（解答欄 四行）

三千年間も固定して継続する古代エジプト人たちの様式化された人間像は、現代人には不自然だが、技術の拙劣さではなく、彼らが先人の作品から継承した実際の間人認識に相応の、大変忠実な描写をした結果とも考えうるから。

### 問三（解答欄 三行）

固定した様式は、伝統を形成する重要な要素であるが、それだけではまだ無意識的な伝承であり、伝統となるには、一つのモデル、手本として意識される必要があるという意味。

### 問四（解答欄 三行）

伝統ということばは、古くから伝えられ、生活の一部となっていたものが、失われるか、失われようという危機の時に、一つのモデルや手本として常に意識されて用いられるから。

### 問五（解答欄 五行）

明治以来、新しい西欧的近代の輸入が急激な変化を招き、日本美術史では、明治十年代後半頃から極端な西欧化に対する反動が目立つようになった。明治二十年代には、古いものが失われるという危機的事態から伝統の意識が生じて急速に強まり、復古主義の時代を迎えた（と筆者は捉えている）。